

1. 徳島保健所庁舎の災害時電気自動車充電設備が一般開放されました。

再生可能エネルギーを活用した災害に強い拠点施設のモデル事業として、徳島保健所庁舎に整備されていた「太陽光発電による電気を活用した電気自動車充電設備」を、県内における電気自動車の普及を図るため、平成24年6月11日（月）から当面の間、県民の皆様方に“無料”で開放することになりました。

電気自動車をお持ちの方は、お気軽に立ち寄って充電してみてください。

- ①利用可能時間 平日の午前8時30分～午後4時30分（正午～午後1時を除く。）
- ②利用手続 利用を希望される方は、保健製薬環境センター事務室（徳島保健所庁舎北側2階）に、まずお越しください。
- ③利用限度 ご利用については、30分間の充電もしくは充電量80%まで、とします。
- ④充電可能車両 CHAdeMO（チャデモ）方式の急速充電を採用している車両



電気自動車充電設備

（例）スバル プラグイン・ステラ、三菱 i-MiEV、
三菱 MINICAB -MiEV、日産 LEAF、
トヨタ iQ ベース EV、
Protoscar LAMP02、Peugeot iON、Citroen C-ZERO、
Micro-vett Fiorino cargo、BD Otomotiv eKANGOO、
BD Otomotiv eTRAFIC

2. 今年も県内2大学の薬学部1年生の早期体験学習の受け入れを行いました。

受け入れ実績は次のとおりです。

大 学 名	研 修 実 施 日	研 修 参 加 人 数
徳島大学薬学部	平成24年6月 8日（金）	学生84名、教職員5名
徳島文理大学薬学部	平成24年6月11日（月）	学生53名、教職員3名

研修は、保健製薬環境センターの各担当（保健科学担当、製薬衛生担当、大気環境担当、水質環境担当）の業務内容について概要説明を行った後、施設見学を行いました。

施設見学では、各担当の検査室で検査に使用している器具や分析機器などを見ながら、担当者が検査業務について説明しました。

特に、薬学生に関係の深い医薬品関係では、医薬品試験室で医薬品の品質確認を目的とした溶出試験の検査の様子を見学しながら、ジェネリック医薬品についての理解を深めてもらいました。

また、福島第一原子力発電所の事故により関心の高まっている環境中の放射性物質の測定について、サンプリングの様子や徳島県の現状を紹介しました。



研修の終了後に実施したアンケート調査では、早期体験学習に参加した大部分の学生が研修内容及び研修プログラムの双方に満足しているという結果を得ました。

学生の皆さんには、将来の進路選択に是非、役立てていただきたいと思います。

参加された薬学生の皆さん、研修お疲れさまでした。

← 〈研修風景〉